

ミッドウィンターレポート

宮本 哲生

ウドさんと再び

年末、年を越える頃、突然 変な(失礼!),アルファベットニホンゴのメール。誰かと思ったら、ウドさんの誘いのメール。これが今回の始まり。昨年、オランダのウドさんと江ノ島全日本に出た時、「いつかまた乗りましょう。」と言ったことが実際に実現することになった。

レース前日、海浜幕張駅まで迎えに行き、再会。早速着替えて、即練習。磯辺高校のマーク練習に入れてもらいセーリング。天気は良し、風は時より 5~6m/s 心地の良いセーリング日和。

スタート、マーク回航のコンビネーションに少し不安があったが、2回の回航で感覚が復活。

マイラーセールもなかなか好調。明日はいけるんじゃないのとの結論で前日は終了。

レース前

当日はうって変わって、雨まじりの気味悪い曇天。ハーバーでは時より出艇前のセールがバリバリうなる。天気予報では昼ごろ 10m/s オーバーの予報。う~ん これは中止か???

どうなることやらとしばらく待っているうち、ぽつりぽつり出艇。どうやら決行することに。

レース委員長の山床さんの英断に感謝。

1R

海面に出てみると、風は 4~5m/s の軽風、思ったより風はない。しかし雨は止んだが、非常に寒い。ウドさんはいつものごとく他の艇に近寄っては「コンニチワー」と愛想をふりまく。非常に元気だ。風はあるので、待つ程もなく クラス旗掲揚、スタート。スタートは少し遅れたが、左のプロローを信じて突き進む。なんとか、挽回し3位。

2R

風が吹きあがってきた。今度はスタートは非常に良い。マーク回航を確実にしようと確認し、気合いが入る。上マークの前で右から来た小松・小川さんの後ろに近づく。上マーク回航、コンビネーションがここぞと決まる。マーク回航後、セールはシバせず、ウィスカーセットが瞬時に決まる。こんな感覚は久々である。練習の甲斐があった。ぐんぐん進む。トップに出た。この感覚である。最終上にマークを間違えそうになったが、保って1位。

3R

風は同じ程度、調子も上々、このレースも1上でトップになった。しかし2上で些細な(僕はその時そう思ったのだが)トラブル発生。トラベラーの外れ止めのシートが切れた。

後続艇とは開いていたので、後で手直ししようと考えたのだが、ウドさんは「ナウ! ナウ!」とのこと。結果、時より強風でプレーニングするなか、ウドさんはフルハイク、僕はナイフを取り出し、デッキの中でゴソゴソ。細かい。こんなこと初めてである。オランダ人はワカラナイ。でも最後は二人でガッツポーズ。1位。この時点で優勝を確信。

最終レース

風はまだまだ上がってくる、西の空が気味悪い。天気予報通り、時より 12~13m/s のプロローが入ってい

る。最後は気分は上々であるが、安全を考え、セーリング。2位

次のレースもまた！今度は芦屋で！

今回、日本のテザーの公式戦で初めて優勝したこともあり、ウドさん自身は後の公式戦にはまたオランダから来たいとのこと。僕も稲毛フリート所属での最後のレースであり、後に残せるレースになりました。

ウドさんとまたの再会を約束して、稲毛を後にしました。